

R7.5.22 研修参加者記入アンケートのまとめ

A：本日の研修で印象に残ったこと・内容をご記入ください。

1. 人見知りは愛着形成の証であることを知り、安心した

- ・「人見知りは愛着の証拠」という言葉に納得し、安心した。
- ・顔に触れる・応答的な関わり等が情緒の発達に影響することを学んだ。
- ・母親から先生へと安全基地が広がるように関わっていききたいと思った。

2. 乳児期の発達と関わり的重要性を実感した

- ・0～2歳児の発達や成長には、日々の関わりがとても大切であると学んだ。発達に影響することを知った。
- ・抱っこの仕方や姿勢など、身体的な配慮の必要性にも気付いた。
- ・一人一人の発達段階に寄り添い、安心できる環境をつくっていききたいと感じた。

3. 遊びや触れ合いの大切さを学び、実践したいと思った

- ・発達を促す遊びやふれあい遊びを学び、すぐに実践したいと感じた。
- ・遊びを通して子どもとコミュニケーションを楽しみたい。
- ・子どもが安心できる環境づくりを心がけたい。

4. 関わり方や声かけの工夫について新たな学びがあった

- ・乳児への声かけや関わり方について、新たな知識を得ることができた。
- ・応答的な関わりが情緒的な絆を深めることを知った。
- ・発達段階に寄り添う保育の大切さを学んだ。

5. 保育者としての姿勢や心のもち方に気付きがあった

- ・自分を褒めて、自分を愛することが子どもにも伝わるという考えに共感した。
- ・子どもと関わる上で、自分自身の在り方も大切にしたいと感じた。

A：本日の学びや気づきを生かし、今後どのように取り組もうと思われませんか。

1. 子ども一人一人の「安全基地」となる関わりの実践

- ・子どもたちが安心して過ごせるよう、愛着形成を意識した関わりを大切にし、心の拠り所となる存在を目指したい。
- ・子どもたち、一人一人の安全基地が作れるように関わっていききたい。

2. 言葉がけ・表情・ノンバーバルコミュニケーションの工夫

- ・言葉が出にくい子にも積極的に話しかけたり、表情豊かにジェスチャーを使ったりすることで、子どもとの信頼関係を深めていきたい。

3. 触れ合い遊びを通じた発達支援の実践

- ・触れ合い遊びのねらいや効果を理解し、0・1・2歳児の発達段階に応じた遊び（例：ボール遊び、わらべうた）を日々の保育に取り入れていきたい。
- ・触れ合い遊びの一つ一つに効果やねらいがあるのだと学べたので、保育参観などで保護者の方にも伝えていきたい。

4. 学びの共有と園内研修への活用

- ・今日得た知識や気づきを職場に持ち帰り、他の保育者とも共有することで、園全体の保育の質向上につなげていきたい。

5. 日々の保育の振り返りと改善の継続

- ・1日の保育を振り返り、反省、評価を行いながら、学んだことを実践に生かし続ける姿勢を持ち続けたい。